

千葉大学医学部附属病院で多発性硬化症と診断された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月8日

放射線科
脳神経内科

放射線科では、「多発性硬化症におけるミエリンイメージング技術 MySIR のミエリン感受性指標としての有用性の研究」を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

脳神経内科で多発性硬化症の診断をなされ、2023年9月1日～2025年12月31日の間に、脳MRI画像を撮影された方

1. 研究課題名

「多発性硬化症における MRI での T1 強調像を用いたミエリン定量化と臨床重症度の
相関検討」

2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究の目的は、多発性硬化症と診断された方の脳MRI画像において、MyS-T1WIという撮像法が、病態把握のために最適な撮像法か否かを検証することです。もし、MyS-T1WIが最適な撮像法であると確認されれば、体に負担の少ない検査で多発性硬化症による脱髄などの病態を評価することが可能となります。これにより治療の効果を把握が容易になり、将来的には治療方針の最適化や新薬開発に貢献できると期待されます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記録されている病歴、年齢、性別、臨床所見（病型、重症度判定スコア（E

DSS)、MRI結果)

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：放射線科 准教授 横田 元

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院放射線科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

放射線科 准教授 横田 元

043（222）7171 内線6300